

事務事業評価シート

(H.30)No.	5003	(H.29)No.	5003
-----------	------	-----------	------

事務事業名	庁舎管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	
総務部	契約管財室	羽後 和秀	

会計区分	事業コード	022101
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	庁舎管理費	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 財産管理費	庁舎管理費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	未来につなぐ自立と協働による市政経営
	基本施策	2	自主自立の市政経営
	施策	2	成熟社会に対応する行政運営
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
庁舎の設備機器等を適正に維持管理をし、省エネ、省資源、リサイクルを行い、来庁者及び職員の利用しやすく、働きやすい環境づくりを行う。
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ○庁舎保守管理業務 ○庁舎設備等の維持管理(清掃、警備、電話、エレベーター、議場音響) ○庁舎建物修繕等の維持管理 ○庁舎樹木の維持管理 ○駐車場の維持管理 ○庁舎の省エネの取組

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ○庁舎修繕等 ・自動扉開閉装置修繕ほか ○委託 ・庁舎保守管理業務ほか ○工事請負費 ・防火シャッター安全装置取付工事ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ○庁舎修繕 ・空調温水冷水ポンプパイパス弁取替修繕 ・雑排水、湧水ポンプ修繕ほか ○委託 ・空調温水蓄熱槽清掃業務ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ○庁舎修繕 ・庁舎修繕等 ○手数料 ・建築設備検査手数料 	<ul style="list-style-type: none"> ○庁舎修繕 ・庁舎修繕等

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		93,888千円		87,309千円	89,109千円	87,309千円	87,309千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他()		4,271		3,798	3,798	3,798
	一般財源	0	89,617	0	83,511	85,311	83,511
人工数	職員		0.88人		0.88人	0.88人	0.88人
	臨時職員等		0.05人		0.05人	0.05人	0.05人
②概算人件費	0千円	6,602千円	0千円	6,602千円	6,602千円	6,602千円	6,602千円
①+②総事業費	0千円	100,490千円	0千円	93,911千円	95,711千円	93,911千円	93,911千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
平成29年度は庁舎の維持管理を計画どおりに実施し、とくに来庁者の利用が多い1階多目的トイレの改修を行い、利用しやすい環境を整えるとともに、非常時の安全確保のため1階防火シャッターに安全装置の取り付けを行った。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
今後も、引き続き適正な庁舎維持管理を行うとともに、庁舎設備の老朽化による機器修繕の重要・緊急性を検証し、計画的に改修を行う。庁舎建設から約30年が経過することから、設備の老朽化による機器等の改修を計画的に行い、また省エネ機器の導入などを検討し、光熱水費等の経費削減を図る。

6. 事務事業の取組に関する市の計画